

訪問の流れ かんたん3ステップ

① 申込

施設名、連絡先、希望日時、内容等をお知らせください。※講義を希望される場合は、希望日の1か月前までにご連絡ください。

☎ 083-933-4450

訪問申込書に必要事項を記入し、メールにてご送付ください。※鑑は不要です。

✉ a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

申込が希望日の直前となる場合、ご希望に添えないことがありますのでご了承ください。

訪問申込書



乳幼セWebページから取得できます。

② 決定

乳幼セが、スクールソーシャルワーカーと日程を調整し日時が決定したら、訪問決定書類を送付します。
※内容によって、スクールソーシャルワーカーと直接打合せしていただく場合があります。

決定までに数日お時間をいただくこともあります。



アンケートフォーム

訪問

※乳幼セの職員が同行させていただきます場合があります。

③ アンケート送付

今後の訪問支援の充実の為、アンケートにご協力ください。

回答方法

・Microsoftフォーム

皆様のお声をお聞かせください♪
今後の参考にさせていただきます！

山口県乳幼児の育ちと学び支援センター
令和8年度

スクールソーシャルワーカー 訪問の手引き

保育現場におけるいろいろな悩みや思い…
そうだ、スクールソーシャルワーカー（SSW）に
聞いてみよう！

乳幼セSSW訪問が、
先生方の保護者支援・対応の
力を伸ばす一助に！

アドバイザーが
一緒に
訪問することも
可能！

山口県乳幼児の育ちと学び支援センターって？
乳幼児期の教育及び保育が、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることに鑑み、その更なる質の向上を図るため、国公立・私立や施設類型の区別なく、乳幼児期の教育及び保育に関する保育者への研修や調査研究、幼児教育・保育施設に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施する拠点として山口県庁15階に設置されました。

スクールソーシャルワーカー訪問ってなに？
乳幼児期の教育及び保育、福祉に関する専門的な知見や豊富な実践経験を有する「スクールソーシャルワーカー（SSW）」が、保育所・幼稚園・認定こども園等からの要請に応じて、訪問支援等を行います。

どうやって申し込むの？

乳幼セまで
気軽にお電話
ください！
083-933-4450

訪問可能日について

今年度は、令和8年4月10日～令和9年3月12日までの原則平日9時から17時です。(その他、ご希望がありましたらご相談ください。)

費用について

旅費等の費用の負担はありません。 2回目以降も負担はありません。

準備物について

特に必要ありません。 訪問当日、保育の流れや子どもの様子をお聞きすることがあります。講義形式の場合、パソコン、プロジェクター、スクリーンを使用する場合があります。(施設に無い場合は乳幼セが持参します。)

乳幼セのSSWについて

乳幼セのSSWは、主に社会福祉の知見に基づき、助言や講義を通して幼児教育・保育施設の先生方の保護者支援の力を伸ばしたり、面談を通して職員のメンタルケア等の支援を行ったりしています。学校現場で臨床心理の知見に基づき、児童生徒に向き合い、教員と共にサポートを行うスクールカウンセラーとは異なります。



山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

〒753-8501 山口市滝町1-1 (県庁15階)

✉ a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

☎ 083-933-4450



NYUU.YOUSE4450

スクールソーシャルワーカー (SSW)

スクールソーシャルワーカーとは、社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、乳幼児を取り巻く環境に働きかけ、家庭・幼児教育・保育施設等、地域の関係機関をつなぎ、悩みを抱える家族の実態を把握したり、必要な情報を提供したりして問題の解決に向けて支援する専門家です。

県西部担当 資格：公認心理師、精神保健福祉士
上級カウンセラー 等



たけした ともこ
竹下 朋子

乳幼児から多くの能力があり、子どもの権利も生まれたときからあることを知って、いつからでも養育や保育のやり方を考えなおし、苦しさや辛さを減らして、楽しく幸せな人生をめざしましょう！

県東部担当 資格：社会福祉士、公認心理師



たむら まゆみ
田村 真由美

小中学生の子どもたちと関わる中で、子どもの礎を築く乳幼児期の関わりがその後の成長に大きく左右すると痛感しています。子どもや保護者のために園でできることを福祉の視点から一緒に考えてみませんか。

県中部担当 資格：精神保健福祉士



なかむら けいこ
中村 圭子

精神科病院を中心とした精神科領域に長く携わっています。またSSWとして小中学校にて不登校支援・家庭支援を行っています。どのような言葉かけや対応が有効か、一緒に考えるお手伝いをします。

県中部担当 資格：精神保健福祉士、保育士



まつばら ゆかり
松原 由香里

毎日の保育で感じる「あれ?!」はありませんか?いろいろな事情で家庭が機能していないかもしれません。そんな保護者の方を支援につなぐお手伝いをします。

県中部担当 資格：社会福祉士



もりなが まりこ
森永 真里子

ソーシャルワーカー（社会福祉士）として、総合病院でも長く勤務経験があり、子どもだけでなく幅広い年齢の方々の支援・相談に対応してきました。子どもたち・保護者のために何ができるか一緒に悩み、解決する方法を一緒に考えましょう！

スクールソーシャルワーカーと幼児教育アドバイザーが、一緒に訪問し、手立てを考えることもできます！

幼児教育アドバイザー訪問の手引きはこちら



講義例

- ・子どものメディア依存について
- ・子どもの権利擁護について
- ・児童虐待への対応と保育者の役割
- ・ネグレクトへの対応
- ・職員のメンタルヘルス
- ・気になる子どもの保護者支援
- ・子どもの様々な依存について

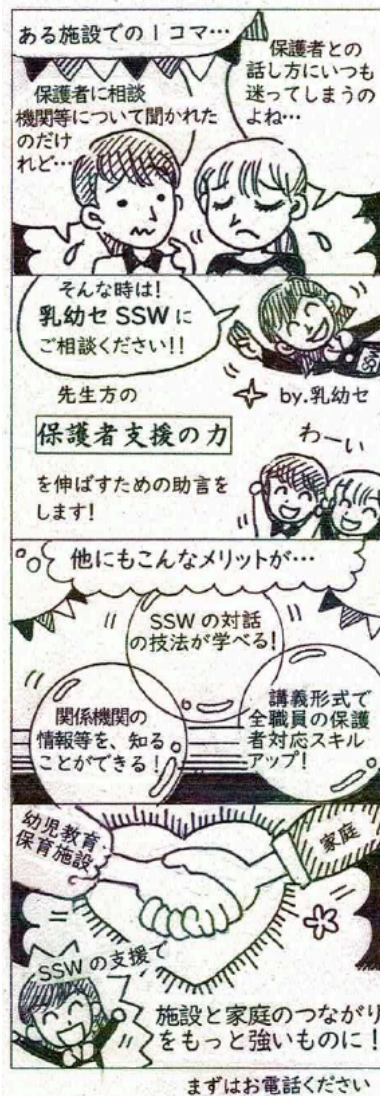
訪問例

- ・気になる子どもの保護者との関わり方について
- ・保護者支援・対応について
- ・関係機関との連携について
- ・職員のカウンセリング（面談・講義等）
- ・保護者支援・対応に関するケース会議に同席・助言

～これまでの訪問のアンケートより～ ご好評いただいています♪

- ・SSWの手法について知り、子どもが自立していけるように働きかけていくことの大切さを学ぶことができた。
- ・話すことで気持ちが悪くなった。保育者の役割の大切さに改めて気づき、これからは頑張りたいと思った。

乳幼セSSWの役立て方について



日々の保護者支援の中で、こんな悩みや迷いはありませんか？
そんな時は、乳幼セSSWと一緒に寄り添わせていただくことで、保護者支援・対応についてのヒントが得られるかもしれません。乳幼セSSWと一緒に考えてみませんか？

乳幼セSSWは、SSWの手法や様々な関係機関の情報等について、先生方にお伝えすることができます。
また、子どもの人権や権利擁護、メディア依存等の講義訪問、職員のカウンセリングでの訪問も行うことができます。



乳幼セSSW訪問のメリット!

- ①スクールソーシャルワーカーの対話の手法を学び、保護者支援・対応のヒント獲得!
- ②関係機関の情報等入手!
- ③全職員の保護者支援・対応のスキルアップ!

乳幼セSSW訪問が、先生方の保護者支援・対応の力を伸ばす一助に!

乳幼セSSW紹介動画はこちら



動画では乳幼セSSWの生の声を聴くことができます！ぜひ、一度ご覧ください♪

SSWの支援・助言について



保護者との話し合いの助言について

保護者や施設の方が、保護者の方と話すときの助言をすることができます。保護者との話し合いに、SSWが同席し、保育者や施設の方へのサポートをすることもできます。